

# コンサルタントの現場から

第119回

(株)ジェムコ日本経営 高橋 功吉

「コンサルタントの現場から」のコラムは、コンサルタントがコンサルティング等の現場で見聞きしたことの中から、参考になるのではないかと四方山話を綴ったものです。

## 振り出しに戻る

支援成果に大きな差

タイでご支援をしていると、これは一体どういうことかという場面に出くわすことがある。製造現場改善での支援先なのだが2社の典型的な例を紹介しよう。

しっかりと理解し、指導を受けたことを踏まえて自分なりの思想を持てるようになり、どんな工場にしていきたいかもイメージし、その実現に向けてさらに改善を進めることができていた。

支援後数カ月ぶりに訪問した際のことだ。その後の状況がどうなっているかを確認すると、1社はその後も着実に取り組みを進めており、さらにすばらしい工場になっていた。責任者が経営視点を

しっかりと理解し、指導を受けたことを踏まえて自分なりの思想を持てるようになり、どんな工場にしていきたいかもイメージし、その実現に向けてさらに改善を進めることができていた。

そのことはわかっていたのである。コンサルタントが訪問した日は叱られると思ったのか休みをとっていた。

## 推進責任者の違い

同じように指導をした両社がこれほどまでに大きな差がついたのは何が原因なのだろうか。一つには、推進責任者の違いだ。その後も着実に取り組みが進んだ工場は工場長が自らリーダーになって工場改革を進めてきた。今まで、どうしていくとよいかわからなかったことをコンサルタントの指導を受けて自分でやるものとし、その後継続的に取り組みできたのだ。支援当初は、毎回コンサルタントが訪問すると、自信が持てていない事項を確認すべく前回から取り組みだかを見てもら

い、これでよいかを都度確認していたが、それを繰り返す間に、基本の考え方の思想を完全に自分のものにすると共に、改善視点を身に付けることができた。工場長が基本を理解し変革の必要性を理解しているのと部下の皆さんも取り組みを継続していくことが当たり前という姿に変わっていったのだ。

ところが、もう一つの逆戻りした工場は推進責任者は現場のリーダークラスだった。この取り組みをしようという時にこのプロジェクトのリーダーに立候補して推進リーダーになったのだが、それは改善取り組みというイベントは楽しそうというだけで、言わば、お祭りに参加するようない興味で立ち上がったのである。コンサルタントから言われたことを実行することで見える工場になったのではあるが。

お祭りでは定着しない

しかし、根本的な違いは、経営推進のための取り組みと捉え、自らものづくりの基本を理解して自ら改善案を出して推

進してきたか、単なる一つのイベントとして、言われたことをやるだけだったのかということだ。タイではこのようなイベントは誰もが好きなスポーツ大会や社員旅行、また、ニューイヤーパーティーといったイベントをされる企業も多いと思うが、いずれも大変盛り上がる。出し物もなかなかのものだ。すなわち、逆戻りした企業での取り組みは、このイベントと同じことだったということだ。

実は、指導したコンサルタントはタイでの支援実績はすでに20年以上というベテランだ。言ったことをやるというのでは定着しないことを熟知しているのだから、徹底して自分達で考えさせる指導をしてきた。それでも、これだけの差が出るのだ。

経営視点を理解したローカル幹部育成の重要性

<執筆者プロフィール>

高橋 功吉  
(たかはし こうきち)

(株)ジェムコ日本経営  
常務理事 グローバル事業担当



大手家電メーカーにて、海外経営責任者などの要職を歴任後、ジェムコ日本経営に入社。2007年執行役員、2011年取締役、2015年6月より現職。上場企業経営トップおよびボードメンバーへの顧問型経営支援をはじめ、グローバル戦略の構築から、製造現場の現場力向上、品質革新など、経営全般にわたり幅広く活躍している。実践に裏打ちされた「わかりやすい」コンサルティングが身上。「ものづくり経営入門」(日経BP)他、雑誌や媒体への執筆、講演も多い。

主な資格は、ICMCI(国際公認経営コンサルティング協会)認定コンサルタント、公益社団法人全日本能率連盟認定マスターマネジメントコンサルタント、経済産業大臣登録中小企業診断士

進んできたか、単なる一つのイベントとして、言われたことをやるだけだったのかということだ。タイではこのようなイベントは誰もが好きなスポーツ大会や社員旅行、また、ニューイヤーパーティーといったイベントをされる企業も多いと思うが、いずれも大変盛り上がる。出し物もなかなかのものだ。すなわち、逆戻りした企業での取り組みは、このイベントと同じことだったということだ。

実は、指導したコンサルタントはタイでの支援実績はすでに20年以上というベテランだ。言ったことをやるというのでは定着しないことを熟知しているのだから、徹底して自分達で考えさせる指導をしてきた。それでも、これだけの差が出るのだ。

## 企業情報、掲載します 新製品・サービスなど

企業情報を掲載させていただきます。  
掲載ご希望の企業の方は下記までご連絡ください

バンコク週報 info@bangkokshuho.com

铸造メーカー様  
(2016年竣工) チョンブリー県



電子機器メーカー様  
(2015年竣工) ナコンパトム県



自動車部品メーカー様  
(2014年竣工) サムットプラカーン県



タイでの工場建設・増築に経験豊富な日本人が全力でサポート!

提案力かつローコストが強み! 工場内設備・電気設備も一括対応

設計・施工・メンテナンスも一貫して自社社員でフォロー!

タイでの工場建設・増築  
お任せください!



TCC  
TECNICA CO.,LTD.  
www.tcctecnica.co.th

お問合せはこちら Tel: 081-991-5078 (杉浦)  
E-mail: sugiura.tcc@tcctecnica.co.th  
TCC TECNICA CO.,LTD.  
(本社パトナーニ・支拠点シーラチャ 日本人社員6名)  
122 Moo.20 T.Klongnueng, A.Klongluang,Pathumthani 12120

おかげさまで30年 オフィスの新設、移転、改装なら

# オカムラ

Siam Okamura International Co., Ltd.

私たちオカムラグループはオフィス構築におけるお客様のあらゆる業務をサポートし、デザイン、家具、内装、設備工事、アフターフォローにいたるまで、オフィスづくりのトータルソリューションをご提供いたします。

井上:084-708-0994 (バンコク)  
津田:089-060-6248 (チョンブリー)

info@siamokamura.com